

◇ 環 境 部

◎ 環 境 総 務 課

環境政策・環境衛生担当が置かれており、職員は課長以下18人(うち臨時職員4人)である。

事務の分掌は、環境施策の企画・調整、環境基本計画の推進、地球温暖化対策、防疫、動物愛護、簡易水道、森林墓園等に関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
歳 入	54,479,000	55,759,153	△1,280,153	102.35
歳 出	104,029,000	83,559,100	20,469,900	80.32

歳入は予算現額54,479千円に対し、調定額56,864千円、収入済額55,759千円で執行率102.35%となっている。

歳出については、予算現額104,029千円に対し、支出負担行為額83,559千円で執行率80.32%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 環境計画事業

本市の環境計画の指針となる環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の改定作業を進めるとともに、前年度の取組み結果をまとめ、年次報告書を作成し、市民等に公表している。

また、富士・愛鷹山麓地域環境管理計画の進行管理については、太陽光発電等森林の伐採を伴う土地利用に対する指導を行うとともに、令和3年度以降の計画改定に向けて、これまでの開発状況調査や洪水流出解析等調査検討業務を進めている。

(2) 温暖化対策事業

地球温暖化対策の一環として、市民及び事業者に対する新エネルギー、省エネルギー対策支援を行っており、11月末日までに、市民温暖化対策事業費補助金15件、3,376千円、中小企業者温暖化対策事業費補助金11件、4,973千円を支出している。

(3) 動物愛護管理事業

狂犬病予防法に基づき、狂犬病予防注射及び畜犬登録事務、愛護動物の飼い方指導、啓発等を行っており、11月末日時点で、狂犬病予防注射接種頭数は12,183頭、

犬の登録数は15,801頭となっている。

また、飼い主の判明しないねこの去勢や避妊手術等を対象に、動物愛護関連団体等に2,305千円を助成している。

(4) 環境衛生事業

衛生害虫対策として、害虫駆除に係る各種防疫作業の委託、町内会への害虫の脱皮阻害剤の配布を実施し、簡易水道対策として、簡易水道及び飲料水供給施設の水質検査を実施している。

また、市民の生活環境の向上や地域衛生組織の育成を目指して環境衛生事業等を実施している2団体(富士環境衛生自治推進協会・富士食品衛生協会)に対し、11月末日までに活動を円滑に進めるため補助金2,225千円を支出している。

(5) 森林墓園管理事業

墓園の規模は4m²×5,000区画であり、本年度は11月末日までに、墓園使用者の募集を1回行い、32区画を承認している。

これにより、使用墓所数が4,980区画、残墓所数が20区画となっている。

なお、墓園施設の管理業務を(公財)富士市振興公社に委託し、11月末日までに、委託料21,353千円を支出している。

◎ 環 境 保 全 課

大気・水質騒音・自然保護担当が置かれており、職員は課長以下13人(うち臨時職員1人)である。

事務の分掌は、大気汚染・悪臭・水質汚濁・騒音・振動の調査監視、工場・事業場への立入検査、各種公害苦情処理、富士山麓ブナ林創造事業、樹林樹木の保護、生物多様性地域戦略等に関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
歳 入	10,117,000	10,115,481	1,519	99.98
歳 出	76,029,000	66,350,506	9,678,494	87.27

歳入は予算現額10,117千円に対し、調定額・収入済額ともに10,115千円で執行率99.98%となっている。

歳出については、予算現額76,029千円に対し、支出負担行為額66,351千円で執行率87.27%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 大気汚染対策事業

大気環境の監視として、大気汚染状況を13測定局(県局5)で常時監視し、環境大気中有害大気汚染物質等調査でダイオキシン類は3測定局で3回、有害大気汚染物質は、揮発性有機化合物(VOC)を2測定局で8回、重金属を3測定局で3回実施している。

さらに、発生源監視及び指導として、11月末日までに、煙道調査等の大気関係の立入検査を延べ37件、ダイオキシン類立入検査を12件実施し、大気汚染に係る11件の苦情処理を行っている。

また、空間放射線量の常時監視を行い、毎日の空間放射線量をウェブサイトで公表している。

(2) 悪臭対策事業

発生源監視及び指導として、11月末日までに、悪臭に係る28件の苦情処理を行い、悪臭に係る調査を2事業場で実施している。

(3) 水質汚濁対策事業

水質環境の監視として、11月末日までに、次のとおり実施している。

(単位：地点、回)

調査名		調査地点数	調査回数
河川等水質調査 (うち、1地点は通日調査を実施)		11	8
海域水質調査	田子の浦港内	2	8
	周辺海域	7	5
地下水水質調査の定点モニタリング等		17	3
地下水水質調査の環境モニタリング		4	1
ダイオキシン類水質調査		17	1
有害化学物質等水質調査		4	1
ゴルフ場農薬調査		1	1

また、発生源監視及び指導として、11月末日までに、特定工場に対する水質立入検査を140事業場、地下水汚染の浄化対策指導を2事業場で実施しており、水質汚濁に係る18件の苦情処理を行っている。

(4) 騒音・振動対策事業

環境騒音の監視として、幹線道路の沿道における騒音、交通量等の調査を8地点、一般地域における環境騒音調査を用途地域別に6地点、新幹線鉄道における騒音等調査を6か所の定点で実施している。

また、発生源監視及び指導として、11月末日までに、41件の苦情処理を行っている。

(5) 富士山麓ブナ林創造事業

自然環境保全意識の啓発と水源涵養林の創造を目的とした富士山麓ブナ林創造事業を4月29日に実施しており、参加者550人で1ha、苗木2,000本の植栽を行っている。

また10月26日には、ブナ等植栽地の自然観察会を実施し、22人が参加している。

(6) 生物多様性地域戦略事業

生物多様性地域戦略の策定を進め、今後はパブリック・コメント制度による意見募集を経て、3月に公表予定となっている。

◎ 廃棄物対策課

計画推進・廃棄物対策担当が置かれており、職員は課長以下10人(うち臨時職員1人)である。

事務の分掌は、ごみ処理計画の企画・実施、廃棄物対策の総合調整、廃棄物の減量化及び適正処理の推進等に関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
歳 入	37,782,000	15,053,599	22,728,401	39.84
歳 出	57,140,000	43,793,136	13,346,864	76.64

歳入は予算現額37,782千円に対し、調定額15,441千円、収入済額15,054千円で執行率39.84%となっている。収入未済額の主なものは、日本容器包装リサイクル協会還元金等の雑入で、年度末までに収入予定となっている。

歳出については、予算現額57,140千円に対し、支出負担行為額43,793千円で執行率76.64%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) ごみ減量化推進事業

「ごみ処理基本計画2015-2024」に基づき、ごみ情報誌「ごみへらしタイムズ」の世帯配布や事業所、市民団体との協働による食品ロス削減事業、事業系指定袋導入モデル事業等を実施し、ごみ減量を図っている。

(2) 不法投棄防止対策事業

不法投棄防止の啓発及びパトロールを実施し、パトロール等で確認された不法投棄物のうち原因者が判明したものは、その回収を指導している。

パトロールは市職員のほか、市が委嘱した不法投棄監視パトロール隊員(8ブロック・21人)にて行われている。

(3) 生ごみ堆肥化推進事業

ダンボールコンポストやEMぼかしを使用した生ごみ堆肥化を啓発促進しており、11月末日までに、ダンボールコンポスト104個を販売し、EMぼかし用機材(堆肥化用バケツ)369個の配布を行っている。

また、大型生ごみ処理機購入費補助制度を実施しているが、本年度の実績はない。

(4) 古着類回収事業

可燃ごみの減量化を推進するため、地区まちづくりセンターを中心とした拠点及び集積所において、衣類や布団等を回収している。回収した衣類は海外で中古衣料として再利用し、布団等は固形燃料の原料として再資源化を行っており、11月末日までに、衣類483.95t、布団等129.78tを回収している。

(5) 協働型古紙回収事業

可燃ごみの減量化及び古紙のリサイクルを推進するため、地区、古紙リサイクル協議会及び市による協働型古紙回収事業を実施し、11月末日までに、新聞紙、雑誌、その他の紙等を1,218t回収し、地区報奨金として3,772千円支出している。

◎ 新環境クリーンセンター建設課

職員は課長以下11人である。

事務の分掌は、新環境クリーンセンターの建設に関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
歳 入	11,318,330,000	17,123	11,318,312,877	0.01
歳 出	11,621,730,000	11,585,406,498	36,323,502	99.69

歳入は予算現額11,318,330千円に対し、調定額・収入済額ともに17千円で執行率0.01%となっている。収入未済額の主なものは、市債及び国庫補助金で、年度末までには収入される予定となっている。

歳出については、予算現額11,621,730千円に対し、支出負担行為額11,585,406千円で執行率99.69%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 新環境クリーンセンター建設事業

平成29年2月に契約を締結した新環境クリーンセンター建設工事は、本年度、工場棟、資源回収棟、循環啓発棟の建設及びプラント設備の設置工事を進めるとともに、東側緩衝緑地整備工事に着手している。そのほか、地元説明会等の開催と事業実施に伴う環境影響評価事後調査等を行っている。

(2) 新環境クリーンセンター建設基金積立事業

平成12年度から積立を開始した新環境クリーンセンター建設基金は、平成30年度末時点で2,519,031千円となっている。本年度は基金運用利子分658千円の積立と新環境クリーンセンター建設事業への充当として290,000千円の取崩を予定している。

◎ 環境クリーンセンター

管理指導・施設・収集担当が置かれており、職員は所長以下69人(うち臨時職員12人)である。

事務の分掌は、ごみ焼却施設・収集運搬車両の整備及び維持管理、一般廃棄物の焼却及び処理、家庭系一般廃棄物の収集及び運搬等に関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
歳 入	324,848,000	186,567,345	138,280,655	57.43
歳 出	1,499,871,000	1,435,088,121	64,782,879	95.68

歳入は予算現額324,848千円に対し、調定額187,679千円、収入済額186,567千円で執行率57.43%となっている。

歳出については、予算現額1,499,871千円に対し、支出負担行為額1,435,088千円で執行率95.68%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 収集・中間・最終処分事業

家庭系の可燃ごみは週2回、埋立ごみは月1回、資源ごみは、かん・金属類、びん類、ペットボトルを月1回、プラスチック製容器包装、剪定枝(予約分のみ)を週1回収集している。

可燃ごみの収集は一部を民間委託しているが、埋立ごみの収集と資源ごみの収集・中間処理は民間業者に委託している。

可燃ごみの状況は、11月末日時点で次のとおりである。

(単位：t)

可燃ごみ	種別	収 集	持 込	その他	計
	重量	29,583	12,375	2,517	44,475

資源ごみの主な収集状況は、11月末日時点で、びん類が1,041t、ペットボトルが329t、かん・金属類が1,084t、プラスチック製容器包装が1,178t、剪定枝が573tとなっている。

ごみ焼却プラントの運転管理業務は、年間387,802千円をもって委託している。

埋立処理については、(株)富士環境保全公社に委託しており、11月末日までに、ごみ焼却灰を4,549t、埋立ごみを1,063t処理している。